（1）　明治20年創刊　第36609号　（第3種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　1997年（平成9年）2月13日（木曜日）　（日刊）

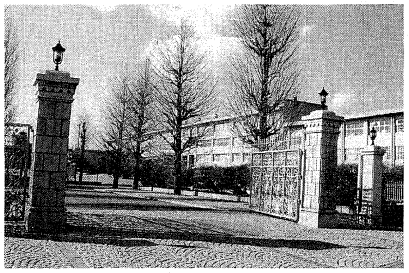
上毛新聞
発行所（〒371）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
電話 市内局番(027)
(編集) 254-9977　(広告) 254-9944
(販売) 254-9131　(事業) 254-9955
(総務) 254-9933　(出版) 254-9956
(制作) 254-9985　(発送) 254-9984
(総合案内) 254-9911
© 上毛新聞社 1997

桐生高 来春から共学

理数科新設、女子受け入れ

渋川西 総合学科 大間々 単位制導入

県教委は十三日、現在の中学二年生が高校に入学する二九九八年度から桐生高に理数科の学科を新設、男女共学に移行させることを明らかにした。高校改革のあり方を検討した県後期中等教育審議委員会が五年三月に行った最終答申の中で男女共学化の推進が盛り込まれて来た。桐生はその第一弾となる。また、同年度から渋川西、大間々両高は総合学科を、大間々高に全日制定時制を新設する単位制をそれぞれ導入、万場高にアドベンチャーコースなど二年生から選択できる四コース新設する方針。県教委は新学科導入に向けた施設整備費を九七年度予算案に盛り込み、準備を進める。



桐生高

万場高 アドベンチャーコースを新設

計画によると、桐生は現在の普通科七クラス（定員二百八十人）を普通科五クラス、理数系の学科二クラスに再編、普通科は従来通り男子のみの募集とし、新設する理数系の学科に女子を受け入れて共学化を図る。

理数系学科の設置は六年の中央高以来となる。県教委は「理数系学科の新規導入を検討したなかで、地域バランスを踏まえ、軍毛、桐生高に決まった。新学科の桐生高に決まった。新学科は本年度から新出願。桐生は七年（大正六年）創立（伝統校）、独立自尊」を校訓にする「文武両道」を校訓にする進学校で、これまで約一万八千人余の卒業生を送り出している。創立八十一年目の共学に移行することになる。桐生地区の公立校は同校のほか、女子校の桐生女、共学の桐生南、桐生西、桐生高がある。

渋川西は現在の普通、商業、情報処理の三科を普通科一本化する。総合